

気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【医療提供（HC-DY）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**医薬品小売（HC-DY）産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
 - ▶ 産業別開示要求の構成
 - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
 - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
 - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

産業の説明	<ul style="list-style-type: none">❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies)、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している
開示トピック及びトピックサマリー	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる
指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている
技術的プロトコル	<ul style="list-style-type: none">❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する
活動指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している

**産業名
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

産業の説明

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

開示トピック

指標

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
原材料調達	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1 1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの • 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの 	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性 • これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

適切な産業の 選択

- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない (S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある (S2基準案 B9項)

重大なリスク 及び機会の識別

- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない (S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求 (付録B) 中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない (S2基準案 第10項)

指標の特定

- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない (S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない (S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない (S2基準案 B16項)

(次頁に続く)

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

医療提供 Health Care Delivery (HC-DY)

「医療提供」産業は、病院、診療所及びその他の医療関連の施設を所有し、管理している。企業は、入院及び外来診療、手術、精神衛生、リハビリ、並びに臨床検査サービスを含む、さまざまなサービスを提供する。

医療提供サービスに対する需要は、保険加入率、人口構成、病気の重さ、及びけがをする確率に大きく左右される。

この産業は、労務費及び施設費の固定費が高く、医療費の削減と結果の改善が規制上、強調されている点で特徴付けられる。

医療提供企業はまた、非公開の営利企業、非営利企業及び宗教団体が運営する医療システムと、患者及びリソースについて激しい競争に直面している。

トピック	コード	指標
エネルギー管理	HC-DY-130a.1	<ul style="list-style-type: none"> • (1)エネルギー総消費量 • (2)電力系統からの電力の割合 • (3)再生可能エネルギーの割合
廃棄物管理	HC-DY-150a.1	<ul style="list-style-type: none"> • 医療廃棄物の総量及び以下の割合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ (a) 焼却 ➢ (b) リサイクル又は加工処理 ➢ (c) 埋立処分
	HC-DY-150a.2	<ul style="list-style-type: none"> • (1)有害医薬品廃棄物の総量及び以下の割合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ (a)焼却 ➢ (b)リサイクル又は加工処理 ➢ (c)埋立処分 • (2)非有害医薬品廃棄物の総量及び以下の割合 <ul style="list-style-type: none"> ➢ (a)焼却 ➢ (b)リサイクル又は加工処理 ➢ (c)埋立処分
気候変動による健康及びインフラへの影響 (impacts)	HC-DY-450a.1	<ul style="list-style-type: none"> • (1)気候災害の頻発化及び激甚化に起因する物理的リスクに対処するための方針及び実務の記述 • (2)気候変動に伴う病気及び疾病の罹患率及び死亡率の変化に対処するための方針及び実務の記述

医療提供企業は、エネルギー集約型の施設を運営しており、購入した電気及び燃料の両方に依存している。

この両方の消費は、**気候変動や公害などの環境への影響 (impacts) をもたらす可能性**がある。

これらの影響 (impacts) を制限し、エネルギー効率及び再生可能エネルギーを奨励しようとする立法上の意図により、化石燃料及び従来型の電力の価格が変動する場合がある。

エネルギー効率を向上させることができる企業は、**コストを削減し、エネルギー価格設定が変動するエクスポージャーを限定することができる**

コード： HC-DY- 130a.1	指標： (1)エネルギー総消費量	測定単位： ギガジュール(GJ)
1	消費したエネルギーの総量をギガジュール (GJ) 単位で集計して開示する	
1.1	すべての供給源からのエネルギーを含める <ul style="list-style-type: none"> • 企業の外部の供給源から購入したエネルギー • 企業が自ら生産した (自己生成の) エネルギー 	
1.2	報告期間中に企業が直接消費したエネルギーのみを含める	
1.3	燃料及びバイオ燃料からのエネルギー消費量を計算する際には、以下のいずれかに方法に基づき、総発熱量 (GCV) とも呼ばれる高位発熱量 (HHV) を使用する <ul style="list-style-type: none"> • 直接測定する方法 • 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) から取得する方法 	

コード： HC-DY- 130a.1	指標： (2)電力系統からの電力の割合	測定単位： パーセンテージ (%)
2	消費した、電力系統から供給されたエネルギーの割合を開示する	
2.1	<p>この割合は、購入した電力系統からの電力の消費量について、エネルギー総消費量で除して計算する</p> <p>計算式の例：購入した電力系統からの電力の消費量 ÷ エネルギー総消費量</p>	

コード： HC-DY- 130a.1	指標： (3)再生可能エネルギーの割合	測定単位： パーセンテージ (%)
3	消費した再生可能エネルギーの割合を開示する	
3.1	再生可能エネルギー：枯渇率以上のペースで補充されるエネルギー源からのエネルギーと定義（地熱、風力、太陽光、水力、バイオマス等）	
3.2	<p>この割合は、再生可能エネルギー消費量をエネルギー総消費量で除して計算する</p> <p>計算式の例：再生可能エネルギー消費量 ÷ エネルギー総消費量</p>	
3.3	<p>再生可能エネルギーの範囲は以下を含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企業が消費した再生可能燃料 • 企業が直接生産した再生可能エネルギー • 企業が購入した再生可能エネルギー 	
3.4	<p>この開示の目的において、バイオマス源からの再生可能エネルギーの範囲は、以下のいずれかの条件に該当するものに限定する：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第三者の基準で認証された材料 • 再生可能エネルギー認証のためのGreen-eフレームワークのバージョン1.0（2017年）又はGreen-e地域基準に従って適格な供給源とみなされる材料 • 適用可能な州の再生可能エネルギー利用割合基準（RPS）において適格となる材料 	

コード： HC-DY- 130a.1	補足事項
4	<p>この開示で報告するすべてのデータに対して、換算係数を一貫して適用する 例：燃料使用量のHHVやキロワット時からギガジュール（GJ）への変換</p>

医療提供企業は、規制対象の医療廃棄物及び医薬品廃棄物を大量に発生させている。

この種の廃棄物にかかる処理料金は、通常、従来の廃棄物よりも高く、この産業にとって大きなコストとなる場合がある。

廃棄物の分別戦略の強化、リサイクル、及び再利用によって廃棄物の発生量を減らすことができる企業は、これらのコストにさらされることを制限することができる。

コード： HC-DY- 150a.1	指標： 医療廃棄物の総量 (a)焼却、(b)リサイクル又は加工処理、及び(c)埋立処分の割合	測定単位： メートルトン(t) パーセンテージ (%)
1	所有及び運営するすべての施設で発生した医療廃棄物の総量をメートルトン単位で集計して開示する	
2	<p>法域の規制を受ける場合がある医療廃棄物は、以下を含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 • 培養物及び株 2.2 • 病理廃棄物 2.3 • ヒトの血液及び血液製剤 2.4 • 鋭利なもの 2.5 • 動物の排泄物 2.6 • 高感染症疾患系医療廃棄物 2.7 • 未使用の鋭利なもの 	
3	<p>発生した医療廃棄物のうち、 (a) 焼却、(b) リサイクル又は加工処理、(c) 埋立処分された医療廃棄物の総重量について、発生した医療廃棄物の総重量で除して、 最終廃棄方法ごとの医療廃棄物の割合を計算する</p> <p>計算式の例：(a) 焼却された医療廃棄物 ÷ 医療廃棄物の総重量</p>	

コード： HC-DY- 150a.1	補足事項	測定単位： メートルトン(t) パーセンテージ (%)
4	医療廃棄物の処理に、廃棄物輸送サービス、斡旋業者又は仲介業者を利用する場合、最終的な廃棄方法を特定するために誠意を持って努力する	

コード： HC-DY- 150a.2	指標： (1)有害医薬品廃棄物の総量 (a)焼却、(b)リサイクル又は加工処理、及び(c)埋立処分の割合	測定単位： メートルトン(t)、 パーセンテージ (%)
1	<ul style="list-style-type: none"> • (1)所有及び運営するすべての施設で発生した有害医薬品廃棄物の総量について、メートルトン単位で集計して開示する • (a)焼却、(b)リサイクル又は加工処理、(c)埋立処分の割合を開示する 	
1.1	有害医薬品廃棄物は、廃棄物が発生する法域で適用される法令の枠組みに従って定義される	
1.2	有害医薬品廃棄物は、一般に、発火性、腐食性、反応性、毒性などの特性を示すものを含む	
1.3	<p>発生した有害医薬品廃棄物のうち、 (a) 焼却、(b) リサイクル又は加工処理、(c) 埋立処分された有害医薬品廃棄物の総重量について、発生した有害医薬品廃棄物の総重量で除して、最終処分方法ごとの有害医薬品廃棄物の割合を計算する</p> <p>計算式の例：(a) 焼却された有害医薬品廃棄物 ÷ 有害医薬品廃棄物</p>	
1.4	<p>該当する法令上の定義がない法域に所在するオペレーションの有害医薬品廃棄物を定義する目的で、以下を使用する場合がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 米国環境保護庁（EPA）の資源保全再生法（RCRA） • EU廃棄物枠組み指令 	
1.5	有害医薬品廃棄物を定義するために使用される、適用される法域の基準又は規制を開示する	

コード： HC-DY- 150a.2	指標： (2)非有害医薬品廃棄物の総量 (a)焼却、(b)リサイクル又は加工処理、及び(c)埋立処分の割合	測定単位： メートルトン(t)、 パーセンテージ (%)
2	<ul style="list-style-type: none"> • (2)所有及び運営するすべての施設で発生した非有害医薬品廃棄物の総量について、メートルトン単位で集計して開示する • (a)焼却、(b)リサイクル又は加工処理、(c)埋立処分の割合を開示する 	
2.1	<p>非有害（固形）廃棄物は、</p> <ul style="list-style-type: none"> • ごみや塵芥、廃水処理場、水道処理場又は大気汚染防止施設からの汚泥、及びその他の廃棄物と定義される • 工業、商業、鉱業、農業、及び地域社会の活動から生じる、固体、液体、半固体、又は含有ガス状物質を含む 	
2.2	<p>発生した非有害医薬品廃棄物のうち、 (a) 焼却、(b) リサイクル又は加工処理、(c) 埋立処分された非有害医薬品廃棄物の総重量について、発生した非有害医薬品廃棄物の総重量で除して、最終処分方法ごとの非有害医薬品廃棄物の割合を計算する</p> <p>計算式の例：(a) 焼却された非有害医薬品廃棄物 ÷ 非有害医薬品廃棄物</p>	

コード： HC-DY- 150a.2	補足事項
3	有害又は非有害医薬品廃棄物の他の廃棄方法がある場合は、それらを開示する
4	医薬品廃棄物の処理に廃棄物輸送サービス、斡旋業者又は仲介業者を利用する場合は、最終的な廃棄方法を特定するために誠意を持って努力する

気候変動に伴う異常気象の増加は、医療提供施設に物理的な脅威を与え、影響を受ける人々へのサービス提供に課題を生み出す可能性がある。

潜在的な感染症の蔓延、食糧不足、水不足と相まって、これらの事象は「医療提供」産業に重要性がある（material）影響を与える可能性がある。

気候変動に関連する方針、実務、及び準備状況に関する企業の情報開示は、価値がどのように保護されるのかを投資者が理解するのに役立つ。

コード： HC-DY- 450a.1	指標： (1)気候災害の頻発化及び激甚化に起因する 物理的リスクに対処するための方針及び実務の記述	測定単位： 該当なし
1	異常気象の頻度、深刻度、種類、及び地理的な場所の変化によって生じる物理インフラ及び資産へのリスクへの対処に関連する方針及び実務について、その性質、範囲、及び実施状況を記述する：	
1.1	<ul style="list-style-type: none"> 洪水の発生しやすい低平地、又は、ハリケーンの発生しやすい地域に位置する物理インフラへのリスク 	
1.2	<ul style="list-style-type: none"> 設備設計に基づく物理インフラのリスク（例：医療機器が地下に存在） 	

コード： HC-DY- 450a.1	指標： (2)気候変動に伴う病気及び疾病の 罹患率及び死亡率の変化に対処するための方針及び実務の記述	測定単位： 該当なし
2	気候変動の影響を受ける可能性が高い特定の疾患の有病率、地勢、及び重症度の変化によってもたらされるリスクへの対処に関連した方針及び実務について、その性質、範囲、及び実施状況を記述する：	
2.1	<ul style="list-style-type: none"> • 熱中症患者の流入に伴う、能力の、増強又は柔軟性（又はこの両方）の必要性 	
2.2	<ul style="list-style-type: none"> • 患者の変化する疾患プロファイルを特定及び治療するために必要な施設及び専門知識の獲得： 	
2.2.1	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熱帯地域の住民に影響を与えるが、気候変動により将来的には非熱帯地域を標的とする可能性があるマラリア、デング熱、その他の病原媒介生物による疾患 	
2.2.2	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 熱に関連した疾患 	
2.2.3	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 水を媒介とする疾患 	
2.2.4	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 発達障害 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
HC-DY-000.A	(1)施設数 (種類ごと)	定量	数
	(2)病床数 (種類ごと)	定量	数
HC-DY-000.B	(1)入院患者数	定量	数
	(2)外来患者来院数	定量	数

